

地域活性化伝道師プロフィール		分野	◎	○	○
		地域産業・イノベーション・農商工連携	◎	農・林・水産業	○
		地域医療、福祉・介護、教育	○	観光・交流	○
		地域コミュニティ・集落再生		環境	
		地域交通・情報通信		まちづくり	◎
ふりがな		ほうじょう ただし			
氏名		北條 規			
所属	名称	大正大学 地域構想研究所			
	役職	教授			
連絡	住所	(公開)	〒 170-8470		
		(公開)	東京都豊島区西巢鴨3-20-1	(職場)	
	連絡先	(公開)	E-Mail t_hojo[アットマーク]mail.tais.ac.jp		
		(公開)	TEL 03-3918-7311	FAX 03-5394-3055	
連絡方法	電話でお願いします				
略歴	<p>1956年新潟県新潟市出身。専修大学経済学部卒業後、アパレルマテリアル輸入およびホールセラー業務を経て、1982年株式会社夢みつけ隊創業期メンバーとして通信販売事業を中心に事業拡大。富裕層向けダイレクトマーケティング市場でMDおよび商品編集力の独自性で通販・流通業界から高く評価される。2000年JASDAQ上場。全国の産地を回り「食」「プロダクト」の生産者、事業者とオリジナル商品を開発し、数々のヒット商品を手掛ける。そのビジネスモデルが注目され、テレビ東京「ガイアの夜明け」、NHK「クローズアップ現代」等のメディアに取り上げられる。2003年にものづくり研究所を設立、全国の自治体や支援機関のセミナーやワークショップ等を開催して、新商品開発、販路開拓、地域産品のブランディングを支援した。2012年より大正大学地域構想研究所の教授となり、新商品開発、販路開拓はもちろん市町村の総合計画や産業支援、地域ブランディング、観光地域づくり、販売戦略等を手掛ける。</p> <p>●経済産業省関東経済局:2007～「地域資源活用」「農商工連携」の事業評価委員就任 関東局管内の事業評価ならびに支援活動・2013年「TOKYO DESIGN & CRAFT MARKET」コーディネーター・2014年「2020年東京オリンピックパラリンピック活用地域活性化戦略プラン検討会」委員●にいがた産業創造機構:2017年～戦略アドバイザー・「売れる食品づくりブラッシュアップ会議」委員・2015年～「新潟県アンテナショップ・表参道ネスパス」運営委員・2019年「防災×ライブ研究会」委員 ●新潟県:2017年～「創業支援チャレ」審査員・2015年～「地域産業緊急需要創出事業」委員、2019年「新潟県農業改革基本戦略推進会議」委員 ●新潟県五泉市:2014年～「五泉ニット組合ブランド化事業」コーディネーター ●静岡市:2015年～「静岡ブランド認証葵プレミアム」評価委員・静岡市中小企業技術表彰評価委員長 ●藤枝市:2018年～藤枝ブランド認証「藤枝セレクション」評価委員・2019年「起業家商品ブラッシュアップ事業」評価委員●Forbes JAPAN「SMALL GIANTS AWARD」アドバイザーボードメンバーなど多数歴任 ○(2003年～)株式会社ものづくり研究所代表取締役 ○(2005年～)NPO法人さど代表理事 ○(2018年～)株式会社リベルタ社外取締役</p>				
著作・論文等	<ul style="list-style-type: none"> ・「産業集積地における オープン・ファクトリーの取組事例」大正大学地域構想研究所平成30年度研究紀要 ・「第四次産業革命におけるものづくり産業の課題と新たな価値の創造」同平成31年度研究紀要 ・その他機関誌・情報誌に多数寄稿 				
取組概要	<p>1982年から通販事業を立ち上げ、当時は通信販売がまだマイナーな評価であったが、通販で先行しているアメリカを中心に製品を仕入れ、自社通販で販売し、日本でも独自の高い付加価値型通販会社として注目を集めた。当時はカタログ中心であるが、スピード重視で毎月3本のカタログを発行、毎月100アイテムの新商品を開発し、どこよりもニュース性の高い商品情報を独自の編集スタイルで発信していた。その独自性が評価され、2012年にJASDAQに上場。製品の差別化を図るために全国の産地を回ってオリジナル商品を開発し、市場に投入することで地域性の高い製品を数多くヒットさせることができた。また、2007年より経済産業省関東経済局の「地域資源活用」「農商工連携」の事業評価委員に就任し関東局管内の事業評価ならびに支援活動に携わることで、地域資源の活用、六次産業化をはじめ全国の事例やビジネスモデル、事業スキームなどの豊富な知見とノウハウを有している。加えて、2012年から大正大学地域構想研究所の教授に就任したのを契機に、大学のプラットフォーム(大学が運営するアンテナショップ、学生のフィールドワーク、研究調査活動、全国90自治体との連携)と連携しながら、地域資源の発掘、地域産品や観光地域づくりの再編集などその分野が広がり新しい付加価値化の取り組みを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用した新商品の企画、開発(食・プロダクト) ・地域のブランディング、地域デザイン ・マーケティングとメディアへの情報プロモーション ・新規事業の事業計画の策定とプロデュース 				
メッセージ	<p>これまでの経験から、その地域の資源を活用した新商品の開発、商品の付加価値化、そして流通やメディアを通してその魅力を発信するノウハウもっています。リアル店舗、通販市場等の流通販路もネットワークがあるため、単なるアドバイスではなく、着地を図り成果を出すことをモットーに支援活動を展開しています。地域経済が厳しい中、今ある経営資源の活用、地域で眠る地域資源掘り起し、製品の新たな用途開発はもとより、地域のステークホルダーの連携の構築や地域間連携なども大切な視点です。新しい発想と行動力ある学生のネットワークとも連携しながら地域課題の解決にもつなげるよう貢献してまいります。</p>				
関連ホームページ	・ https://chikouken.jp/ (大正大学地域構想研究所)	活動エリア	全国		

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールへの返信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。